

事業所名

ゆらんこ（放課後等ディサービス）

支援プログラム

目成作

2025 年

11 月

1

| | | | |
|-----------|--|---------|---|
| 法人（事業所）理念 | つながり合う関係： ひとは産まれた時からつながり合う関係のなかで安心を築きます。 安心は心の安定や発達のエネルギーにとって大切な役割をもっています。 支え合う信頼： ひとは安心感を築き合うなかで信頼関係がはぐくまれ支え合う心地よさを知ります。 響き合う共感： ひとは楽しいとき、さみしいとき、しんどいときに理解し合えるひとが必要です。 私たち職員は、障害のあるひと、支援を必要とするひと、その家族の方々に寄り添い、地域社会との架け橋になれるよう取り組みます。 | | |
| 支援方針 | 1 利用児が日常生活における基本的動作及び知識技能を習得し、並びに集団生活に適応することができるよう、利用児等の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な支援及び相談を行うものとする。 2 事業所の従業者は、指定通所支援の提供に当たっては、懇切丁寧を旨とし、利用児等に対し、支援を必要な事項について、理解しやすいように説明を行うものとする。 3 事業者はその提供する指定通所支援の質の評価を行い、常にその改善を図るものとする。 4 事業所は、利用者の人権の擁護、虐待の防止等のため、必要な体制の整備を行うとともに従業者に対し、研修を実施する等の措置を講ずる。 5 前四項のほか、事業者は法及び「児童福祉法に基づく指定通所支援の事業の人員、設備及び運営に関する基準」に定める内容のほか関係法令等を遵守し事業を実施するものとする。 | | |
| 営業時間 | 13 時 00 分から 17 時 30 分まで 送迎実施の有無 あり(要相談) | | |
| 支 援 内 容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 ・基本的生活スキルの取得（手洗い・うがいなどを通して体を清潔にできる） ・体温計測、記録、体調の変化に気づき体調管理ができる ・持ち物の整理、整頓、食育（おやつ作り）ごっこ遊びなど | | |
| | 運動・感覚 ・制作、おやつ作り、外出、神社・公園遊び、サーキット、体操、ダンス、ドイツゲーム、肋木わたり ・スライム、小麦粉粘土、フィンガーペインティング、シャボン玉、タオルブランコ、バランスボール ・手先の使い方 ハサミ活動、粘土、ひもとおし、ジスター ・音楽療法（歌や楽器等を活用） | | |
| | 認知・行動 ・スケジュール確認（時間の概念の習得）ドイツゲーム（空間・数等の概念習得、ルールの確認）おやつ作り ・SST（例えばおもちゃの貸し借りの場面について、ロールプレイ手法で職員が子どもに提示し、意見を交換し合う） | | |
| | 言語 コミュニケーション ・集団遊びの中で他児とのやり取り（見立て遊び、ごっこ遊び） ・今日の振り返り（今日の出来事、感じたことを文章、絵に表現する、今日の気分【顔の表現マーク】を使う）職員がやり取りをし、子どもの気持ちを引き出す。・子どもの意見を聞く（遊び、おやつのリクエスト） | | |
| | 人間関係 社会性 ・集団遊び（自由遊び含む）、サーキット、ドイツゲーム 図書館に遊びに行く（マナーやルールを学ぶ） | | |
| 家族支援 | 講師、職員によるペアレントトレーニング、子育てサポート | 移行支援 | 保育所、学校、などと情報共有して連携をはかる |
| 地域支援・地域連携 | 保育所、学校、医療機関と情報共有連携を図る 地域と祭りや避難訓練などの行事に参加する | 職員の質の向上 | 新人研修、虐待防止、人権擁護、身体拘束等の適正化、感染予防、BCP研修、他毎月ケース会議を実施 |
| 主な行事等 | ・初詣、豆まき、ひな祭り、七夕、納涼祭、防災訓練、お店屋さんごっこ（利用児の作品や成人施設の作品を使って販売・購入の体験）保護者を招待、クリスマス、忘年会 | | |